

自らの道は自ら耕し切り拓く

学校法人 八紘学園  
北海道農業専門学校

HOKKAIDO AGRICULTURE TECHNICAL COLLEGE  
**2026**



**INDEX**

P1 北海道農業専門学校で身に付く12のこと  
P3 主な施設紹介  
P5 学びの流れ

P7 畜産グループ／乳牛科・日高畜産科・耕作機械科  
P13 園芸グループ／野菜科・果樹科・花き科

北海道農業専門学校で  
身に付く12のこと

# 12 points



01

創立者栗林元二郎の自耕自拓の精神が  
自らチャンスを作り拓く気概を育てる



02

4つの飼育形態で  
アニマルウェルフェアに沿った和牛管理を習得できる



03

農業機械を自分自身で整備するから  
操作や修理の知識が身に付く



04

消費者に近い環境だから、届いた声を  
日常の栽培管理に生かす大切さを実感できる



05

専門学校では北海道で唯一  
果樹の栽培管理を学べる



06

北国ならではの  
花き生産技術を学べる



07

長い月日をかけて受け継がれた牛群で  
高品質生乳生産と育種改良を学べる



08

進化する酪農や農業の最先端技術と  
受け継がれてきた技術が身に付く



09

農業の経験がある人もない人も  
無限大の力が身に付く



10

日々の実習を通して  
自身の成長を実感できる



11

ここで学んだこと、身に付けたことが  
生涯の財産になる



12

全寮制だから出会える仲間と共に  
新たな視点や価値観を広げられる



酪農学園  
北海道農業専門学校  
校長 野 英二

酪農学園大学で長きにわたり教鞭を執り、2005年  
に教授、2017年に名誉教授、副学長に就任。1986  
年より、北海道農業専門学校の非常勤講師を務め  
八紘学園評議員、理事を経て2022年に校長就任。

## 変わらぬ建学の精神「自耕自拓」

本校は1930年に開学した長い歴史を持つ農業の専門学校です。創立者である栗林元二郎は開拓者であり、その建学の精神は「自耕自拓」。自らの道は自ら耕し切り拓くというものです。開学以来、90年以上にわたり教育の方針が変わることなく、農場実習が主体の全寮制の専門学校という形態を貫いてきました。これは、日本の農業を支える上での一つの大きな存在と言えます。私は40年ほど前に北海道農業専門学校とのご縁をいただいてから、いつの時代も変わらぬその建学の精神に深く共感し、尊敬してきました。変化が激しく、先行き不透明な今の時代にこそ、「自耕自拓」の精神は特に重要です。「自耕自拓」の精神を持った実践力のある人材の育成を目指し、教職員が同じ気持ちで取り組んでいます。

## 変化する農業の環境に対応できる「考える力」を養う

今はスマート農業など、省力化・効率化を目指す動きがあり、農業経営は法人化が進み拡大路線に進んでいます。農業のあり方やシステムは、時代によって変わっていくのは当然のことです。一方で、家族経営など昔ながらのやり方がよいという考え方もあります。何が正しいかではなく、それぞれの農家の考え次第。大切なのは、どういう方向で自分は進むべきなのか、一人一人の考える力を養うことです。また、本校は立地に恵まれており、酪農学園大学や北海道大学、農業試験研究機関や農業関連企業など関係している機関が周辺に多く、外部講師も充実しています。最新の情報に触れることは、学生が現場に出た時、自分で判断できるようになるための材料になるでしょう。

## 国家の基盤は農業 農業は国を支える重要な産業で、誇り高い職業

先進国は特に農業が盛んでなければなりません。国の基盤は農業なのです。昨今の厳しい社会情勢に負けずと踏みとどまり、維持していただくだけではなく発展していくことが大切です。農業に興味があり、本校の学校案内を手にとった方に伝えたいのは、国民の食糧を支える重要な産業に携わることの誇りを持って挑戦してもらいたいということです。ここでの2年間は一つの挑戦です。失敗してもいい。思ったら行動してみてください。そのフィールドとして最高の環境を整えて教職員一同、お待ちしております。

# CAMPUS LOCATION

## 北海道農業専門学校

札幌市市街地に63ha、日高に129haという広大な農場。敷地面積の総計は東京ドーム40個分にも相当します。農業を学ぶための充実した環境は、広大なフィールドだからこそ実現するのです。



住宅地に隣接した場所に立つ校舎は、地下鉄東豊線福住駅から徒歩5分。スーパーやコンビニなどの商業施設や飲食店も充実した立地です。

### 1 乳牛科



毎年7月中旬頃より札幌牛舎では、国家資格である家畜人工授精師の講習会を開催しています。

### 2 耕作機械科



札幌農場と日高農場の敷地内では、安全面の指導を受けながら思う存分広大な敷地で操作ができます。

### 3 野菜科



ビニールハウス・露地物も合わせて30品目以上の野菜の栽培技術を習得し、販売まで一連の工程を学びます。

### 4 花き科



草花・切り花・鉢植えなど、基本的な花の管理を習得します。播種、雑草抜き、水やり、施肥などを学びます。

### 5 果樹科



リンゴ、ナシ、ブルーベリー、サクランボ、ブルーベリーなど約1,800本を植栽し、苗木の栽培管理など、果樹の生産技術を学びます。

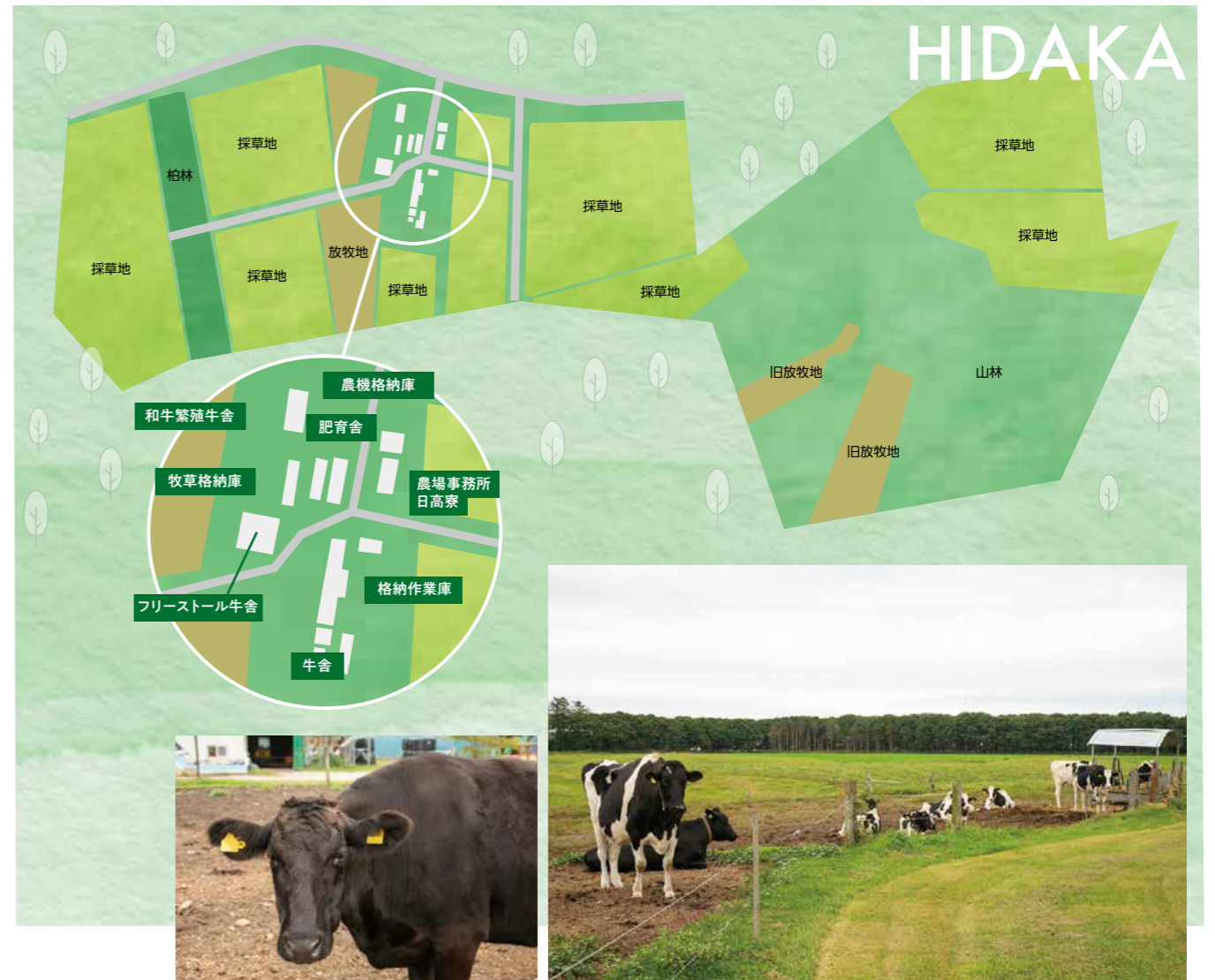
### 6 直売所



八紘学園農産物直売所では、学生が実習で育てた農産物や地元食材を販売し、地域と農業をつなぐ持続可能なまちづくりを目指しています。

## 日高農場

日高の広大な敷地にある4棟の牛舎では、さまざまな飼育方法を学ぶことができます。牛をつないで飼育する牛舎では、育成牛や乾乳牛を大切に育てています。



### 7 学生寮



全寮制だから実習や授業だけでなく、日常も一緒。仲間たちは農業でつながる一生の財産です。



### キャンパスライフ

夏期実習期間	冬期講義期間	休日
4:00 起床	4:00	4:00
5:00 点呼・早朝実習	5:00	5:00
6:00 朝食	6:00 起床・点呼	6:00
7:00	7:00 朝食	7:00 朝食
8:00 朝礼・実習講義	8:00 朝礼	8:00
9:00	9:00	9:00
10:00 午前実習	10:00 午前講義	10:00
11:00	11:00	11:00
12:00 昼食・昼休み	12:00 昼食・昼休み	12:00 昼食
13:00	13:00	13:00
14:00	14:00	14:00
15:00 午後実習	15:00 午後講義	15:00
16:00	16:00	16:00
17:00 夕食	17:00 夕食	17:00 夕食
18:00	18:00	18:00
19:00 フリータイム	19:00 入浴	19:00 入浴
20:00	20:00	20:00
21:00	21:00	21:00
22:00 門限	22:00 門限	22:00 門限

# 学びの流れ

1年生では農業全般を幅広く体験するため、各科での実習を行い自分自身の可能性を探します。2年生では2つのグループから、さらに希望する専攻科を選び集中的に学習。実践力を磨きます。

## 1年生の学び

### 班別実習

夏期は農場畜舎管理実習、冬期は講義を中心としたカリキュラムによって、必要な知識と経験を身に付けます。実習では少人数の班に分かれ各科を日替わりで実習し、仲間と協力しながら農業全般の学習を進めます。実習期間中においても農場内での実地で学ぶ演習等、知識の向上を行い、さらに冬期講義で理論的にも理解できるようにします。

### 準専攻実習〔選択制〕

班別実習で全ての学科を体験したら、夏休み以降については希望する学科を2つのグループから選択・実習。興味を持ったり、将来に生かしたいと考えたりした各専門分野について、より深く学べるようにします。2年生の専攻にむけた準専攻実習を行います。

### 1年生では班を組み、日替わりで各科を実習



### ■ 主な実習・研修

資格取得	ガス・アーク溶接や車両系建設機械運転技能講習、フォークリフトなど知識と演習が必要な資格を授業内で取得することができます。
演習Ⅰ (現地ゼミナール)	各専門家から「病原菌採種と同定」「牛の体内構造を調査」「土壌断面調査」「スマート農業」などを直接学び理解を深めます。
視察研修	年2回、道内の農業関係機関などへ視察研修に行きます。企業が持つ最新技術や働く上で必要な知識やスキルを得る契機となります。

### ■ 冬期講義

合同(隔年)	農業経営学・農業政策	必修	農業機械Ⅰ	必修	土壌分析	選択	英会話Ⅰ
合同	農業実践論		農業機械Ⅱ		キャリア形成実習		マーケティング論
必修	土壌学	必修	食品製造学	必修	エンジン分解組立	選択	情報処理
	作物学		家畜健康管理学		植物病理学		農業用薬物概論
	園芸学		実習講義		応用昆虫学		
	畜産学Ⅰ		畜産加工実習		農業気象学		

## 2年生の学び

### 専攻科

畜産・園芸の大きく2つのグループから、さらに6専攻のうち1つを選択。4月から10月までの多くの時間をかけてスキルアップをしていきます。

専攻科では、より専門的に実習や講義で学びを深めます。就農に必要な資格の相談や技術習得を各分野の職員が学生へ個別指導し、卒業後の進路を明確にしていきます。また専攻科の実習期間中は、第一線で活躍している企業と交流できる機会があり、農場運営、経営、人生の歩み方など思い描く農業を進めていくためのさまざまな「気づき」を与えてくれます。

### 2つのグループから、希望する専攻科を1つ選んで集中的に学習する



### ■ 主な実習・研修

演習Ⅱ (テーマ研究)	実習環境で自ら興味を持ったテーマで実験、観察、調査を実施。必要なデータの収集、発表を通し学んだことへの理解を深めていきます。
インターンシップ	インターンシップは全学年が対象。特に専攻科では、就農先の仕事内容や最先端技術の経験を学ぶ機会として積極的な参加を促します。
研修旅行	学生自身が、学びたいことや行き先を決める研修旅行。高度な技術の導入や、優れた経営理念や経営手法を学ぶ農場等を視察します。

### ■ 冬期講義

合同(隔年)	農業経営学・農業政策	畜必	家畜飼養学	園必	花き園芸学	選択	経営分析
合同	農業実践論		家畜繁殖学Ⅰ※1		果樹園芸学		測量学
必修	作物栽培学(飼料作物・畑作)	畜選	家畜栄養学	園選	野菜園芸学	選択	農業ICT概論
	作物栄養学		畜産学Ⅱ		組織培養学		農業機械整備
	ガス電気溶接実習		家畜の育種		6次産業化・商品開発		英会話Ⅱ
	農産物加工実習		家畜繁殖学Ⅱ※2		農業簿記学		

※1 2年生畜産グループを専攻している学生の必修科目です。2年生になってから受けられる「家畜人工授精師講習会」の受講希望者は1年生の時に講義をうけて単位取得が出来れば講習会の免除科目となります。  
 ※2 2年生の選択科目です。「家畜繁殖学Ⅰ」同様、「家畜人工授精師講習会」の希望者は1年生の時に講義をうけて単位取得が出来れば講習会の免除科目となります。

## インターンシップ

職業経験を授業の中でも持つ機会を増やすことを目的とした研修です。最大5日間の中で学校が推薦する企業と本人が行きたい企業の中から1つ選んで進路を明確にしていきます。現場の雰囲気や仕事の流を感じられる上、内定につながることも。



## 研修(国内外)

一般財団法人日本青年協会は、近代農業を志向する若者の研修活動に対する経済的支援を行い、優れた農業関係の若手人材の育成を通じて、我が国の農業振興に貢献することを目的としています。

- 農業経営に関する知識や技術の調査研究
- 国内外での農業関連の調査研究
- 支援金額は1名あたり年間30万円
- 支援人員は全学年のうち、2名~3名を学内の審査を得て申請

### 主な研修先

- |                         |                           |
|-------------------------|---------------------------|
| ○カナダロイヤル・ウィンターフェア視察     | ○鹿児島県 じゃがいも生産農家 高橋農園      |
| ○ヨーロッパ農業視察研修            | ○青森県 株式会社 NAMIKI デーリィファーム |
| ○バン格拉ディッシュ途上国支援視察       | ○山形県 DESIGN AGRI株式会社      |
| ○ニュージーランド酪農事情視察         | ○大分県 株式会社本川牧場             |
| ○フランス・チェコ・ドイツ 国際園芸見本市視察 | ○京都府 丹波牧場                 |
| ○フィリピン植林ツアー             | ○宮崎県 有機JAS認定農場 園田農場       |

## 大学への編入制度 さらに学び、高度な知識・知見を得ることで、将来の選択の幅を広げる。

### 本校卒業は【専門士】、大学卒業で【学士】のダブル取得

北海道農業専門学校の2年間で実践的に農業を学び、寮での共同生活でコミュニケーション力を身に付けたら、大学への編入で進路をさらに広げるといいう選択肢もあります。

大学編入制度は、本校卒業で「専門士」の称号を取得すると、大学3年次へ編入入学することが可能となる制度です。

※本校で取得した単位の認定方法は大学によって異なります。



本校での2年間を通じ、農業はもとより社会人として活躍する現場での実践力を磨き、大学編入後は、さらに深めたい分野の高度な学問知識と幅広い教養を習得することで、皆さんの活躍のフィールドは、より一層広がることでしょう。

農業をより深く学ぶもよし、農業を通じた食やマーケティング、地域づくりなど展開できる分野はあなた次第。

大学編入制度で、専門士の称号と、学士の学位のダブル取得が可能です。

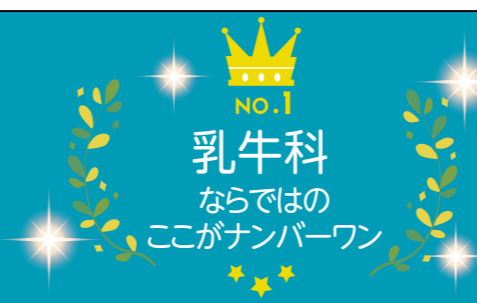
編入学によって、就職の幅が広がったり、4年制大学で4年間学ぶよりも学費等の費用が節約できるといったメリットもあります。

# 畜産グループ 乳牛科

乳牛科を専攻すると、実習時間の大半を「乳牛の飼養管理」や技術の習得及び実践に費やすこととなります。学生へ学んで欲しいことは、「牛を見る目」です。約半年間の実習期間に乳牛の行動を観察し、各個体の小さな変化にも気づけるようになって欲しいと考えています。

また、札幌市内にある牛舎のため環境に配慮した飼養管理（ハエや悪臭対策）や、生体センサーであるU-motionを活用した乳牛のモニタリング、昨今の猛暑への対策等、歴史ある牛舎ながらさまざまなアップデートが試みられており、伝統と最新の両方を学べる環境が整っています。

毎日接する牛たちが  
酪農で何が大切かを教えてくれる



## 1番身近で牛のことがわかるようになる

延々と続く血統と育種改良。建設から53年が経過しても隔々まで行き届いた牛舎管理。共に歴代の学生たちが繋いでいった結果が今の牛たちの姿なのです。最近の牛舎は、牛と人の距離を離すような設計になっていますが、本校の牛舎は、牛の吐息や体温を感じられる牛と人の距離が近い牛舎です。

## Interview 在学生インタビュー

藤田 歌望

乳牛科専攻希望 1年  
栃木県立小山西高校出身



### 夢は6次産業への挑戦。実習では知識豊富な先生から学べます。

農業全般に関わるさまざまな学科があるため、幅広く学べ、将来の夢の幅も広がると考えたのが入学のきっかけです。実習では、知識も経験も豊かな先生方があたたかく、楽しく指導してくださいます。同級生や先輩も困ったときは助け合ったり、わからないことを質問しあったりできる頼もしい存在です。幅広い知識や実習での経験をもとに、2年生になったら、次は私が後輩に慕われるような先輩になりたいですね。実は入学当初は牛が怖かったのですが、乳牛科での実習で牛への接し方がわかると、今では毎日会いたい!と思うほど牛たちが大好きになりました。実習はもちろん、座学を通して農業や酪農についての基礎はもちろん、実践的なことまで広く深く学んでいます。将来は、北海道内の酪農家に就職し、日本の酪農を支えるような存在になりたいです。またいつか、生産・製造・販売にトータルで関わる6次産業にもたずさわりたいと思っています。

### 取得可能な資格

#### 学内(授業)で取得可能な資格

- 家畜人工授精師
- 車両系建設機械運転技能講習
- 玉掛け技能講習
- 小型移動式クレーン運転技能講習
- ガス・アーク溶接技能者
- 日本農業技術検定（1級・2級・3級）

※一部資格については学外での実施となる場合もあります。

#### 学外で取得可能な資格

- 毒物劇物取扱責任者
- 削除師
- 食生活アドバイザー
- 食育インストラクター  
（1級・2級・3級・4級・プライマリー）
- 家畜商
- 普通自動車免許・大型特殊免許

※本校の規定により申請書を提出すると、受講料金の一部助成を受けられるようサポートしております。  
※普通自動車免許、大型特殊免許については助成サポートの対象外です。

### 年間スケジュール／乳牛科

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般飼養管理											
	●石狩スプリングショウ			●石狩・空知ホルスタイン共進会	●北海道ホルスタインナショナルショウ						
	●北海道ブラックアンドホワイトショウ		●家畜人工授精師講習		●デントコーン収穫	●全日本ホルスタイン共進会		●畜産学I、畜産学II			
										●畜産加工実習	

## Voice 卒業生の声

木村牧場  
木村 達也 2004年卒業生

### 共進会で成果が出たときなど、喜びの多い仕事です。

小学生の頃から牛舎で手伝いをしてきた私は、北海道農業専門学校の共進会への取り組みに興味を持ち入学を決めました。現在は乳牛の飼育のほか、共進会にも積極的に参加しています。出荷乳量が上がってきたとき、共進会で成果が得られたときなど、この仕事をして良かったと感じます。共進会のたびに手伝ってくれる同級生もいて、学生時代の仲間は一生の宝ものです。



### 乳牛科 主な卒業生の進路実績

※2025年2月末現在 ※過去5年間

- 帰省就農(熊本県)
- 帰省就農(岩手県)
- 帰省就農(豊富町)
- 株式会社新田ファーム
- 十勝CW牧場株式会社(帯広市)
- 今村牧場(更別村)
- 吉田牧場(上士幌町)
- 株式会社奥秋牧場(鹿追町)
- 株式会社エステリアデイリーサービス(広尾町)
- 有限会社鹿追デリーサービスカンパニー(鹿追町)
- 有限会社トミーランド(阿寒郡鶴居村)
- 株式会社トップファーム(佐呂間町)
- 佐藤牧場(豊富町)
- 福屋牧場(恵庭市)
- 十勝酪農ヘルパー組合連絡協議会
- 学校法人八紘学園 北海道農業専門学校 契約職員
- 学校法人八紘学園 北海道農業専門学校 研修職員
- 帰省就農(音更町)
- 帰省就農(鹿追町)
- 有限会社大原牧場

# 畜産グループ 日高畜産科

日高町にある日高畜産科の日高農場では、4棟の牛舎でさまざまな飼育形態を学ぶことができます。つなぎ牛舎では育成・乾乳牛を飼育。フリーストール牛舎は育成牛の飼育を行うほか、分娩房として利用しています。フリーバーン牛舎は発酵床式で繁殖和牛を飼養しており、肥育牛舎では黒毛和種の一貫経営を学ぶことができます。肥育牛舎には、生体センサーを導入することで、常に牛の行動が観察できる管理方法や、アニマルウェルフェアの考え方に沿った取り組みも行っています。

学ぶのは和牛の一貫経営  
高い評価の和牛を、子牛から育てる



1番の自慢は4年間で出荷する肥育牛すべてがA5等級を獲得、肥育成績はBMSで最高評価No.12の牛が80%以上達成

出産した牛の哺育から肥育牛の出荷まで学生が責任を持って世話をします。特に重要なのは、日々の管理で牛の少しの変化も見逃さないことが大切です。日高畜産科では、過去4年間の肥育成績は学生たちの努力ですべてA5等級を獲得。さらに、BMSの評価では最高ランクNo.12を80%達成し、非常に高い評価を受けています。

## Interview 在学生インタビュー

佐藤 悠斗

日高畜産科2年  
札幌新陽高校出身



和牛の管理・育成を学び、卒業後は新規就農を目指しています。

小学生の頃に体験した椎茸栽培や畑作がきっかけで、将来は農業をしたいと思っていました。畑作を学びたくて入学しましたが、共進会をきっかけに牛の世界に魅力を感じ、今は繁殖、肥育など和牛の育成・管理を学んでいます。日高農場では効率の良い仕事の仕方や、溶接や電機点検、牛舎の修繕修理など、就職に役立つスキルも磨かせてもらっています。学校で学べるのは2年間ですが、先生方が和牛の育成・管理を丁寧かつわかりやすく教えてくださるため、どんどん知識と技術が身についている実感があります。また、学びながら後輩たちに伝えるのは大変ですが、にぎやかにワイワイと学んでいる姿を見ると、こちらも笑顔になります。目指しているのは新規就農。自分の和牛舎を建てて、自分が育てた和牛を共進会に出品して賞を勝ち取り、自分の牛を世に広めていきたいです。そのためにも在学中に多くのことを学ぼうと決意しています。

### 取得可能な資格

#### 学内(授業)で取得可能な資格

- 家畜人工授精師
  - 車両系建設機械運転技能講習
  - 玉掛け技能講習
  - 小型移動式クレーン運転技能講習
  - ガス・アーク溶接技能者
  - 日本農業技術検定(1級・2級・3級)
- ※一部資格については学外での実施となる場合もあります。

#### 学外で取得可能な資格

- 毒物劇物取扱責任者
  - 削蹄師
  - 食生活アドバイザー
  - 食育インストラクター  
(1級・2級・3級・4級・プライマリー)
  - 家畜商
  - 普通自動車免許・大型特殊免許
- ※本校の規定により申請書を提出すると、受講料金の一部助成を受けられるようサポートしております。  
※普通自動車免許、大型特殊免許については助成サポートの対象外です。

### 年間スケジュール/日高畜産科

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般飼養管理・和牛素牛出荷							※北海道ホルスタインナショナルショウ及び全日本ホルスタイン共進会については出品の際、参加資格が必要です。				
	●デントコーン 播種・ 放牧開始	●1番牧草 収穫		●2番牧草収穫		●放牧終了	●畜産学I・畜産学II				
			●和牛共進会・ 家畜人工授精師 講習								

## Voice 卒業生の声

株式会社中嶋牧場  
代表取締役  
中嶋 勝巳 1989年卒業生

3人の子どもたちも入学。北海道で多くの体験をしてほしい。

九州から入学して酪農を学び、現在は黒毛和牛の繁殖を行う牧場を営んでいます。3人の子どもたちも北海道農業専門学校に入学しました。私から勧めたことは一度もなかったのですが、北海道への憧れもあり自分の意思で決めたようです。人見知りなところのある子どもたちには小規模な学校が合っていると思います。九州ではできない体験をたくさんしてほしいですね。



### 日高畜産科 主な卒業生の進路実績

※2025年2月末現在 ※過去5年間

- 帰省就農(熊本県)
- 帰省就農(鹿追町)
- 石田牧場(鹿追町)
- 有限責任事業組合 帯広畜産センター
- 株式会社関谷牧場(新得町)
- 有限会社Mの国牧場(宮崎県)
- 中川牧場(根室市)
- 株式会社木谷牧場(千歳市)
- 株式会社トップファーム(佐呂間町)
- 合同会社tasukE(枝幸町)
- 阿寒酪農ヘルパー利用組合(阿寒町)
- 学校法人八紘学園 北海道農業専門学校 研修職員
- 酪農学園大学 農食環境学群 循環農学類

# 畜産グループ 耕作機械科

耕作機械科ではトラクターや農作業機を扱う実習時間が他校と比較して圧倒的に多く、実践的な能力を高めることができます。札幌農場と日高農場の敷地内では安全面の指導を受けながら思う存分広大な敷地で機械操作ができます。また、操作だけでなく、機械整備についても学ぶことができます。機械整備実習がある学校は他にもありますが、教職員の指導のもと学生本人が修理した作業機やトラクターを実際に農場実習で使用できるのは、本校の耕作機械科ならではの強みです。

操作も整備も実践で学ぶ  
農作業の現場で即戦力になる



## 耕作機械科 ならではの ここがナンバーワン

### 1番に考えているのは安全第一

どの学生も長い実習期間が終わる頃には一通りの作業ができるまでに成長。農業機械や道具を間違った使い方をしたり、気持ちに余裕がなくなったりすると自分だけでなく、誰かを傷つけることもあります。実習中も、卒業してからも、怪我をしないよう、怪我をさせないよう安全第一を一番にしています。

## Interview 在学生インタビュー

### 石井 優輝

耕作機械科2年  
北海道雄武高校出身



### 耕作機械の知識を、将来、農業を継いだときに役立てたい。

高校時代、農業をやりたいと父に伝えたら、父の母校でもある北海道農業専門学校を勧められました。耕作機械科を選び、大型機械の乗り方や使い方、整備の方法のほか、機械を使つての飼料の収穫などを学んでいます。実習では、先生からは丁寧に細かく教えてもらえますし、同級生や先輩、後輩とは学年関係なくみんなで協力しながら学んでいます。先生や仲間たちといろいろな話をしながら、楽しく仲良く時間を過ごす環境も気に入っています。学校では古い機械で行う作業の大変さや、見たこともなかった機械に触れる新しい体験ができるのが勉強になります。トラクターや作業機の手入れや整備を身に付けることで、実家の農業の仕事で活かせることも嬉しいですね。将来は、実家の農業を継ぐ予定。もっと経営のことや牛のことについても学び、いつかは父親を超えられるように頑張りたいです。

### 取得可能な資格

#### 学内(授業)で取得可能な資格

- 家畜人工授精師
  - 車両系建設機械運転技能講習
  - フォークリフト運転技能講習
  - 玉掛け技能講習
  - 小型移動式クレーン運転技能講習
  - ガス・アーク溶接技能者
  - 日本農業技術検定(1級・2級・3級)
- ※一部資格については学外での実施となる場合もあります。

#### 学外で取得可能な資格

- 毒物劇物取扱責任者
  - 食生活アドバイザー
  - 食育インストラクター  
(1級・2級・3級・4級・プライマリー)
  - 普通自動車免許・大型特殊免許
- ※本校の規定により申請書を提出すると、受講料金の一部助成を受けられるようサポートしております。  
※普通自動車免許、大型特殊免許については助成サポートの対象外です。

### 年間スケジュール／耕作機械科

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
●肥料散布 農業機械点検整備	トラクターオイル交換 圃場の耕起等	●デントコーン播種 札幌農場牧草収穫(一番草)	●札幌農場牧草収穫作業(二番草)	●麦刈り作業(岩見沢) 牧草地更新作業 日高農場牧草収穫作業(二番草)	●堆肥散布 炭カル散布 尿散布 農業機械整備	●堆肥散布 炭カル散布 尿散布 農業機械整備	●農業機械整備				
		●日高農場牧草収穫作業(一番草) デントコーン除草作業			●牧草更新作業(播種) 札幌農場デントコーン収穫 札幌農場牧草収穫(三番草)					●溶接実習	●エンジン分解実習

## Voice 卒業生の声

### 栗林牧場

栗林 一気 2008年卒業生  
栗林 典子 2008年卒業生

### 実践的に学んだことを、牧場での仕事に生かしています。

農業機械士、人工授精師の資格と大型特殊自動車免許を取得。同級生だった妻と結婚し、実家の牧場を継ぎました。現在は、私は牧場の仕事のほぼ全てを、妻は子どもとの時間を優先し哺乳や搾乳を担当しています。二人とも耕作機械科出身のため機械の取り付けがスピーディー。トラクターなどの作業もスムーズ。毎年の農繁期には「耕作機械科で良かった!」と思えます。



### 耕作機械科 主な卒業生の進路実績

※2025年2月末現在 ※過去5年間

- 帰省就農(音更町)
- 帰省就農(幕別町)
- 帰省就農(雄武町)
- 帰省就農(枝幸町)
- 有限会社デーリサポート(帯広市)
- 株式会社光農産業(浦幌町)
- 日本ニューホランド株式会社(札幌市)
- 株式会社北富青果(新得町)
- 伊達農業塾 風のがっこう(伊達市)
- 農事組合法人 柏台生産組合(美瑛町)
- 公益財団法人 北海道農業公社(大樹町)
- 株式会社本間家畜人工授精所(遠軽町)
- 株式会社夢真(札幌市)
- 学校法人八紘学園北海道農業専門学校 研修職員

# 園芸グループ 野菜科

播種から収穫まで、一連の工程を学生が主体となって学びます。栽培技術だけでなく、実習に必要な機械操作も学ぶことで実践レベルの人材を養成します。また、実習や直売所での販売にとどまらず、市内農業関係のイベント販売への参加、飲食店や企業への出荷など、食を支える人たちの一員となっています。野菜を作る責任や自然と向き合う難しさを肌で感じながら、仲間たちと切磋琢磨し、作る魅力を発見できるよう指導しています。

畑で学び、挑戦し  
食を支える人になる



## 1番嬉しいのは収穫

一番に感じてもらえるのは収穫の喜びです。一般的には苗から育てるのですが、学校ではタネから育てるなど、北海道農業専門学校だからこそ体験できることがあります。さらに、収穫した野菜を選別、調整し直売所に並べます。その際に消費者の方から美味しかったと声をかけられるのも嬉しい体験です。

## Interview 在学生インタビュー

新井 天太

野菜科 2年  
兵庫県立福崎高校出身



一所懸命育てると野菜は応えてくれる。それが農業の楽しさです。

高校を卒業したら実家から遠い北海道で進学したい、北海道といえば農業と思いこの学校を選択。なので、入学するまで農業に関わったことはありませんでした。それでも、熱心に指導してくれる先生や寮の仲間たちに囲まれて充実した毎日です。実習では野菜の種をまき、できた苗を畑やハウスに定植し、収穫したら直売所で販売するために袋に詰めて出荷。畑の片付けをして1年間の実習が終わります。この一連の流れのなかで感じるの、人が頑張ると野菜はそれに応えてくれるということ。播種、灌水、温度管理、防除、畑作りなどを一所懸命にすると野菜たちは美味しくなってくれます。見るたびに育っているのがわかるので楽しく感じます。これからは頑張るって学び、少しでも野菜を理解し、実践していくのが目標。そして将来は、農業について知ってもらえる活動ができる環境に就き、さまざまな人に農業の楽しさを伝えていきたいです。

### 取得可能な資格

#### 学内(授業)で取得可能な資格

- 車両系建設機械運転技能講習
- フォークリフト運転技能講習
- 玉掛け技能講習
- 小型移動式クレーン運転技能講習
- ガス・アーク溶接技能者
- 日本農業技術検定 (1級・2級・3級)

※一部資格については学外での実施となる場合もあります。

#### 学外で取得可能な資格

- 毒物劇物取扱責任者
- 食生活アドバイザー
- 食育インストラクター  
(1級・2級・3級・4級・プライマリー)
- 普通自動車免許・大型特殊免許

※本校の規定により申請書を提出すると、受講料金の一部助成を受けられるようサポートしております。  
※普通自動車免許、大型特殊免許については助成サポートの対象外です。

### 年間スケジュール／野菜科

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
農場管理											
●播種育苗定植	●アスパラ収穫	●イチゴ収穫	●ニンニク収穫 ●トマト・キュウリ収穫	●スイートコーン エダマメ収穫	●イチゴ定植 ●パレイシヨ収穫	●ダイコン・ キャベツ収穫					●播種育苗定植
野菜園芸学											
										●農産物加工実習	

## Voice 卒業生の声

舛田農園  
舛田 晴希 2015年卒業生

実家の農地の利益を上げ、  
経営を大きくしたい。

卒業後は実家に戻り農業をしています。実家は、父が私が中学生のときに新規就農をしたため経営面積は大きくはありません。そのため、両親と一緒に経営を大きくしていきたいと考えました。自分のペースで働き、収穫した野菜を食べられるのも魅力です。今後は、今の面積でいかに利益を上げられるかを考えながら、農業の魅力も発信していければと思っています。



### 野菜科 主な卒業生の進路実績

※2025年2月現在 ※過去5年間

- 有限会社ファームキトラ(長沼町)
- 藤本園芸(兵庫県)
- 白馬農場株式会社(長野県)
- 株式会社NAKAGIN 平岡農園(札幌市)
- 湯浅ファーム(倶知安町)
- 深川市地域おこし協力隊(深川市)
- 株式会社グリーンオーシャン(東京都)
- 夢想農園(土幌町)
- 株式会社モス・サンファームむかわ(むかわ町)
- ダイヤモンド十勝株式会社(芽室町)
- 有限会社笹原牧場(紋別市)
- 株式会社三木田(長沼町)
- 株式会社北海道興農社(安平町)
- カルビーポテト株式会社(帯広市)
- 社会福祉法人旭川旭親会(旭川市)
- 学校法人八紘学園 北海道農業専門学校 研修職員



# 園芸グループ 果樹科

リンゴを軸に、プルーン、サクランボ、ブルーベリーなど約1,800本を植栽。道内で唯一、果樹の生産技術を実習で習得。苗木の新植から開花・収穫までの栽培管理を通じて、品種の特性や基本技術を学びます。また、狩りもの体験や直売所での販売を通じて消費者と接点を持ち、今後の栽培の改善に生かすなど幅広い体験ができます。生産者だからこそ味わうことのできる果樹の魅力にふれ、寒い北国ならではの工夫や、人々を笑顔にする果樹栽培を指導しています。

実る喜びと美味しさを  
味わいながら学んでいく



## 1番になってほしいこと

果樹という永年作物は、「翌年を意識した管理が必要になる」ということを1番知ってもらいたいです。また、数多くの品種の違いを自身の五感で感じ取り、特に自身で管理した果実の味を堪能してほしいです。例えば好きな果物を聞かれたら「ブルーベリーのチャンドラー」と答えられるくらいになってほしいです。

## Interview 在学生インタビュー

逢坂 咲杜

果樹科 2年  
北海道釧路明輝高校出身



### 実習で育てる果物の、小さな変化にも気づけるようになりたい。

さまざまな果物の生育過程での管理や収穫の仕方、果物狩りや直売所での対応なども実践的に学んでいます。特に印象に残っているのはブドウの生育。サニールージュという品種で種なしブドウを作るために必要なジベレリン処理や袋かけを、1人で担当しました。1人で責任をもって実習をすることに不安もありましたが、ブドウが大きく成長していくことを見守る喜びも感じることができました。この先の実習でも、責任をしっかりと、果樹の小さな変化に気づけるようになりたいと改めて感じています。今は、興味のある果樹の勉強をしていますが、これからは視野を広げ、他の分野についても学びたいです。最終的なゴールはまだ明確ではありませんが、将来は農業にたずさわる仕事に就こうと考えています。在学中にもっと勉強し、経験を積むのが目標。まだまだできることはたくさんあると思うので、とにかくチャレンジして今後を生かしたいです。

### 取得可能な資格

#### 学内(授業)で取得可能な資格

- 車両系建設機械運転技能講習
  - フォークリフト運転技能講習
  - 玉掛け技能講習
  - 小型移動式クレーン運転技能講習
  - ガス・アーク溶接技能者
  - 日本農業技術検定 (1級・2級・3級)
- ※一部資格については学外での実施となる場合もあります。

#### 学外で取得可能な資格

- 毒物劇物取扱責任者
  - 食生活アドバイザー
  - 食育インストラクター  
(1級・2級・3級・4級・プライマリー)
  - 普通自動車免許・大型特殊免許
- ※本校の規定により申請書を提出すると、受講料金の一部助成を受けられるようサポートしております。  
※普通自動車免許、大型特殊免許については助成サポートの対象外です。

### 年間スケジュール / 果樹科

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
耕運・圃場整備								整枝・剪定作業			
	●リンゴ・プルーン等の定植・摘花		●サクランボ収穫	●プラム・ブルーベリー収穫		●リンゴ・ナシ等選別・販売実習	●越冬リンゴ販売				●農産物加工実習
		●リンゴ・ナシ等の摘花			●リンゴ・プルーン等収穫選別・販売実習			果樹園芸学			

## Voice 卒業生の声

泉谷果樹園  
泉谷 駿介 2022年卒業生

### 育てた果物を喜んでくれる人がいるのが励みです。

実家の果樹園で、今は親のサポートをしていますが、剪定から収穫、選別、草刈りなど、果樹の栽培管理を一通り行っています。お客様やお世話になった方に収穫した果物をお渡しして、「ありがとう」と喜んでいただくと大きな励みになります。果樹栽培で大切なのは協力し、助け合いながら仕事をする事。今後は自分ができることを率先してやれるよう心がけていきます。



### 果樹科 主な卒業生の進路実績

※2025年2月未現在 ※過去5年間

- 帰省就農(余市町)
- 株式会社ハビネスワン(山梨県)
- 北王農林株式会社(幕別町)
- 梨湖フーズ株式会社(白老町)
- 株式会社産直センター(むかわ町)
- インターネットサービス株式会社(帯広市)
- 二トリ観光果樹園(旧山本観光果樹園)(余市町)
- 社会福祉法人旭川旭親会(旭川市)
- 有限会社菅原物流(山形県)
- 株式会社GIS北海道(札幌市)
- 紋別郵便局(紋別市)
- 学校法人八紘学園 北海道農業専門学校 研修職員
- 学校法人八紘学園 北海道農業専門学校 契約職員
- 北海道エコ・動物自然専門学校
- 海上自衛隊

# 園芸グループ 花き科

さまざまな種類の花きについて、基礎知識や栽培技術を学びます。学生の希望があれば、生産計画と一緒に立て、種を取り寄せて栽培を行うこともあります。道内外の園芸関連団体等と協力して行うイベントや店頭販売も貴重な体験。春の花苗販売や秋の鉢花イベントなどで接客も経験し、第一線で活躍する幅広い分野の専門家と交流を図ることもできます。学習を積み重ね、何事にも前向きに取り組む姿勢を持ち続けられるよう指導しています。

誰かの暮らしと心を彩る  
花の栽培を通して



## 1番育ててほしい花

年間を通して花苗、鉢花、露地植えの花を育て、冬支度の冬囲いもする。これほど多くの実習作業と花の種類を学べる環境は他ではありません。中でも、ぜひ育ててほしいのはシクラメン。病気になりやすく、水のコントロールが難しい繊細な花。花き科では毎年シクラメンを育てて10月の実習で販売しています。

## Interview 在学生インタビュー

野村 怜汰

花き科2年  
熊本県立松橋高校出身



花や野菜の栽培管理を任せられる人材になりたいです。

もともとは家業の酪農を継ぐために乳牛について学ぼうと思っていました。酪農の盛んな北海道で実習を通して技術を身につけたい、園芸も学びたいと考え入学。現在は園芸への興味が強く、花き科で植物の栽培管理方法を学んでいます。気候や植物の種類によって灌水の仕方が変わるのが植物栽培の難しさ。最初は水加減がわからず、失敗もしました。しかし、毎日管理をしていくなかで植物への理解が深まり、気候による灌水の仕方の違いも少しずつわかるようになりました。まだ完璧ではないですが、自分が成長しているのを実感しています。将来は、花や野菜を栽培する農業法人への就職を希望。特に、花の栽培管理の実習で経験してきたことを生かし、水やりや肥料の管理なども任せられるように頑張りたいです。そのためには、花の知識を今以上に学ぶだけでなく、野菜や果樹の栽培管理の方法まで身につけようと思っています。

### 取得可能な資格

#### 学内(授業)で取得可能な資格

- 車両系建設機械運転技能講習
  - フォークリフト運転技能講習
  - 玉掛け技能講習
  - 小型移動式クレーン運転技能講習
  - ガス・アーク溶接技能者
  - 日本農業技術検定 (1級・2級・3級)
- ※一部資格については学外での実施となる場合もあります。

#### 学外で取得可能な資格

- 毒物劇物取扱責任者
  - 食生活アドバイザー
  - 食育インストラクター (1級・2級・3級・4級・プライマリー)
  - 普通自動車免許・大型特殊免許
- ※本校の規定により申請書を提出すると、受講料金の一部助成を受けられるようサポートしております。  
※普通自動車免許、大型特殊免許については助成サポートの対象外です。

### 年間スケジュール/花き科

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
各種栽培・維持管理											
● 苗定植		● ラベンダー収穫	● 花菖蒲の品種鑑定 ● 北海道フィールドトライアル開催			● 来春販売用増殖・播種	● 冬囲い	● シクラメン販売イベント(外部)	● 播種・植え替え		
● 花苗販売(直売所)								花き園芸学			

## Voice 卒業生の声

月形町地域おこし協力隊  
農業実習生  
金澤 桃子 2015年卒業生

切り花の栽培で新規就農を目指し修行中です。

卒業後は社員として農業に従事していましたが、結婚と子どもの誕生がきっかけで新規就農を決意。現在は行政・地元農協・先輩農家さんと連携しながら就農のための実習を行っています。1年目は先輩の元で学び、2年目は町の実習農場で生産・販売を実践。試行錯誤の日々は大変ですが楽しく、子どもとの時間も増えました。品質の良い切り花を栽培していきたいです。



### 花き科 主な卒業生の進路実績

※2025年2月未現在 ※過去5年間

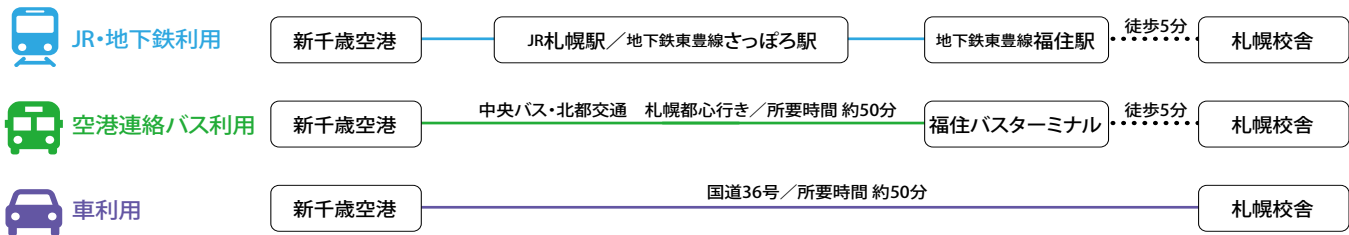
- 当別町農業総合支援センター(当別町)
- 株式会社野澤組(千歳市)
- 株式会社グリーンワールド(札幌市)
- 株式会社サンガーデン(恵庭市)
- 株式会社タイプ(斜里町)
- The北海道ファーム株式会社(栗山町)
- 北海道社警高等学校 農務従事員(社警町)

# ACCESS

アクセス



札幌校舎までのアクセス



## OPEN CAMPUS

オープンキャンパス

オープンキャンパスの  
申し込みはこちら



第1回 2025年 <b>6/28</b> ±	第2回 2025年 <b>7/30</b> 水	第3回 2025年 <b>8/30</b> ±
-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------

学校見学会  
2025年 **9/27**±

宿泊・日帰り体験実習 期間: 5/7(水)~10/20(月)

随時受付

体験実習・見学の  
申し込みはこちら

学校法人 八紘学園 北海道農業専門学校  
〒062-0052 札幌市豊平区月寒東2条14丁目1-34  
TEL 011-851-8236  
E-mail [hakkou@hakkougakuen.ac.jp](mailto:hakkou@hakkougakuen.ac.jp)  
<https://hakkougakuen.ac.jp/>

北海道農業専門学校 日高農場  
〒059-2122 沙流郡日高町緑町44-2  
TEL・FAX 01456-2-5280

follow me!

各種SNSにて農場や学校生活を紹介しています。